

未来への協働

2021年12月16日(木)
第332号

発行所 未来への協働
https://kyodimirai.org
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
(06) 4306-3512
郵便振替 00940-8-213061
mirai_newsroom@yahoo.co.jp
発行人 山本 康

●第1・3木曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

老朽原発廃炉 大阪で集会	2
関生弾圧 竹信三恵子さん	3
朝鮮労働党の規約改正	4
チッソと天皇家	5
ラッパと亀次郎	6

ご意見、ご感想を
上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

来年1月から発行日が
毎月第2、第4水曜日
に変わります

扇状地

われわれの住むこの国の国号は「にほん」「にっぽん」、漢字を当てれば「日本」だが、もともと日本列島に住んでいた人びとは自らを「やまと」と称したようだ▼「やまと」に「日本」という漢字を当てて「にっぽん」と読むようになったのは7世紀、聖徳太子が隋に宛てた親書が発端▼「日出する処の天子が日の沈む国の天子に書を送る」という外交文書が無礼だと中国皇帝は怒ったそう、皇帝が何に怒ったのかは議論があるようだが、ここで問題なのは「日本」の語義である▼「ひのもと」とは中国から見た日の出の方角、つまり「中国から見て東」という意味。基準点は自分たちではなくあくまでも中国にある▼「にっぽんすこい」という論説が一部で流行っているが、「中国の東の国はすこいだらう」といって自らも自慢にならないことに本人たちは気づいていない▼中国でもアメリカでもなく、自律的な価値基準にもとづいて私たちが社会を運営できるのは、一体いつの日になるであろうか(善)

辺野古新基地 軟弱地盤問題

県が設計変更を不承認

玉城知事「国の横暴、負けてはいけない」

11月25日、沖縄県の玉城知事は、この決定を不承認にした。この決定は、辺野古新基地建設に際して、政府が申請していた設計変更を不承認した。この決定は、玉城知事の「国の横暴、負けてはいけない」という強いメッセージを示している。玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。

11月25日、沖縄県の玉城知事は、この決定を不承認にした。この決定は、辺野古新基地建設に際して、政府が申請していた設計変更を不承認した。この決定は、玉城知事の「国の横暴、負けてはいけない」という強いメッセージを示している。玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。

11月25日、沖縄県の玉城知事は、この決定を不承認にした。この決定は、辺野古新基地建設に際して、政府が申請していた設計変更を不承認した。この決定は、玉城知事の「国の横暴、負けてはいけない」という強いメッセージを示している。玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。



JR大阪駅前「不承認」支持の横断幕かけスタンディング(11月26日、大阪市内)

玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。玉城知事は、この決定について、記者会見で「国の横暴、負けてはいけない」と述べた。



反対同盟を先頭に千葉地裁を包囲デモ(12月6日、千葉市内)

成田空港 農地と暮らしを守る 今秋、裁判が次々再開

三里塚関連の裁判が、10月20日には、新しく裁判・控訴審(東京高裁民事2部)の第1回口頭弁論が開かれた。市東さんの農地にある反対同盟のやぐらや看板の撤去を求めて成田空港会社(ANA)が起訴した裁判である。裁判の開始にあたって反対同盟と弁護団は、2時間に及ぶ一審不当判決を批判。反論する弁論を陳述し、徹底審理と敵性証人(ANA元役員)を含むすべての証人の採用を強く求めた。渡部裁判長はこれには答えず、年内の進行協議と次回裁判

10月20日には、新しく裁判・控訴審(東京高裁民事2部)の第1回口頭弁論が開かれた。市東さんの農地にある反対同盟のやぐらや看板の撤去を求めて成田空港会社(ANA)が起訴した裁判である。裁判の開始にあたって反対同盟と弁護団は、2時間に及ぶ一審不当判決を批判。反論する弁論を陳述し、徹底審理と敵性証人(ANA元役員)を含むすべての証人の採用を強く求めた。渡部裁判長はこれには答えず、年内の進行協議と次回裁判

秘密保護法から8年 憲法改悪をとめるぞ

秘密保護法強行可決から8年になる12月6日、戦争あかん! ロックアクトの集会和デモが大阪市内で行われ、辺野古の設計変更不承認の支持、大阪市のカジノ誘致への反対、岸田政権による改憲の暴露が続いた。

老朽原発、このまま廃炉

全国各地から1600人が参加

12月5日 大阪



反原発・脱原発をかけた全国から1600人が参加(5日、大阪市内)

12月5日、大阪市内西区浜3号機差止訴訟について報告した。その後、全国各地から参加者が紹介され発言が続いた。福島からの避難者も多数登壇し、原発賠償関西訴訟の取り組みを報告した。集会では福井県で長年反原発の運動の中軸をになつてきた中島哲演さんが主催者あいさつ。続いて井戸謙一弁護士が、美

発電施設よりも高くなつていることの問題、⑥自治体との約束を守らない電力会社の企業倫理の問題等々が指摘された。老朽原発を廃止に追い込み、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現しようと呼びかけた。関西各地では、この間、「ひとりのデモ」、福井地元でのアメーバデモ、各戸チラシ配布、抗議デモやスタンディングなどの、柔軟で幅広い戦術を駆使して行動がおこなわれていた。今後も継続して老朽原発を廃炉をめざそう。(五嶋真一)

基地に依存しない、まちへ

米軍レーダーの撤去めざす

11月28日 京都



京都府京丹後市宇川地区の米軍基地の撤去を求め、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現しようと呼びかけた。関西各地では、この間、「ひとりのデモ」、福井地元でのアメーバデモ、各戸チラシ配布、抗議デモやスタンディングなどの、柔軟で幅広い戦術を駆使して行動がおこなわれていた。今後も継続して老朽原発を廃炉をめざそう。(五嶋真一)

障を理由に、この11月に13日間連続で稼働させた。自分たちの勝手な都合で、地元との約束を平気で破るのが米軍のやり方だ。「オリエンツシールド21」では、宇川地区の米軍・自衛隊基地では「共同基地警護訓練」を実施し、「銃撃戦で撃たれて負傷した民間人を救助する」という訓練が行われていた。実際にこの様子を目撃した永井さんは、「何のための訓練なのか」の説明を求め、「いくつ」と訴えた。(今津悠二)

原発災害から身を守る

自前の避難計画を

11月27日 大阪



「原発・核燃からの撤退を! 2021秋の関西集会 原発災害から身を守る」を開催された。(主催:脱原発政策実現全国ネットワーク関西) 原発政策実現全国ネットワーク関西・福井ブロック/井ブロック/写真上)

「原発・核燃からの撤退を! 2021秋の関西集会 原発災害から身を守る」を開催された。(主催:脱原発政策実現全国ネットワーク関西) 原発政策実現全国ネットワーク関西・福井ブロック/井ブロック/写真上)

環境経済研究所代表で法政大学講師の上岡直見さんは講演で、政府自治体の原子力防災計画を戦争中の「焼夷弾にバケツリレー」に例えた。戦時中の日本政府は、「米軍の焼夷弾が落ちて来たらバケツリレーで消

焼夷弾にバケツリレー 環境経済研究所代表で法政大学講師の上岡直見さんは講演で、政府自治体の原子力防災計画を戦争中の「焼夷弾にバケツリレー」に例えた。戦時中の日本政府は、「米軍の焼夷弾が落ちて来たらバケツリレーで消

市民環境研究所理事の守田敏也さんは「日本は災害に弱くなっている」と指摘。2010年以前の決壊河川数は年平均3回だったが、18年までに9回に増え、18年は25回に急増した。日本列島は「ひずみ集中帯」上にあり、大地震

(池内潤子)



2020年1月1日におこなわれた、大阪府警を弾劾する元旦デモ

労働組合つぶしを許さない兵庫の会、第2回総会と学習会が開かれた(11月25日、神戸市内、約120人)。学習会では竹信三恵子さん(ジャーナリスト・和光大学名誉教授)が、「関生事件が示す近未来労組の可能性」を話した。(取材・文責/高崎)

今回の関生弾圧は、単に労働組合に労働組合だけではない。見通せば、二メラー牧師の時と同じように、かならず自分のところに来る。来た時には、「周りには助けをくれる」といって、「怖さ」もある。なぜなら、私はユダヤ人ではない。周りに助けをくれる人は誰もいない。このことになりかねない。

ドイツの二メラー牧師は、ナチスの弾圧を詩に書いている。「ナチスが最初に共産党を弾圧したとき、私は何もなかった。なぜなら、私は共産主義者でなかったから。ナチスが労働組合を弾圧したとき、何もなかった。なぜなら、私は労働組合員でなかったから。ナチスがユダヤ人を弾圧したとき、かならず自分のところに来る。来た時には、「周りには助けをくれる」といって、「怖さ」もある。なぜなら、私はユダヤ人ではない。周りに助けをくれる人は誰もいない。このことになりかねない。

その予感や実感が、私の『賃金破壊』という本を出した背景だ。そしてメディアが、まったく音なしだったことがショックだった。私は、後悔しないために、この弾圧を取材しようと思った。

焦点

関生は「近未来労組」

和光大学 名誉教授 竹信三恵子さんが講演

ローバル化のもと、国際競争力が激しくなるから賃金が下がる」と言ってきたが、そうではない。日本の上上げ装置に、どこか欠陥がある、そういう賃金破壊ということが分かってきた。それは労働組合が力をなくしてき

たからだ。しかし、いまだに賃上げ、労働条件の改善をかちとっている労働組合がある。そこに、関生支部に攻撃がかかっていた理由がある。

関生支部の働きかけで、生コン各社が広域協同組合をつくり、100社組織していくなか、しかし広域協組の中身が変質していった。これまで協力関係にあった関生支部との間もおかしくなっていた。

警察は、一応「法律に」といってやっているが、憲法28条があり労働3権と労働組合法があるのに、なぜ逮捕できたのか。労働法用語を、刑事事件の用語にすり替えている。例えば「団体交渉を強要」ということが行なわれている。「団体交渉を強要」と

いうのが今回のやり方だ。憲法28条を解釈改憲

政府が「労働組合法を」といって、「憲法28条を改憲しよう」というと、大騒ぎになり、「労働基本法を守れ」という運動が起こってくる。だから、関生は労働組合では

ないから、労働基本権憲法28条のうちの外的で速

く、破防法を適用し

てくださ。これから、万博とかIRがおこなわれるなか、それでいいんですか」と言っている。

それらの事業に、セメントがたくさん使われるというところを見越して言っている。裁判では、裁判所は衝立を用意し審理をしていく。関生は怖い集団である」と印象付けようとしている。関生を弾圧することにより、労働運動、野党攻撃に利用している。

戦前の同じ戦

なぜ、こういうことが起るのか。戦前、日本の労働運動では、企業の別を超えた横断的組織が当然だった。企業別や事業所別組合は「黄色」組織

と見ることが常識でした。第1次大戦後、国際連盟に加入の条件に「労働組合を公認すること」とされるという雰囲気。戦勝国の一員たろうとする日本は、治安警察法第17条、同盟罷業の「誘惑扇動」を禁止の改廃、労働法の制定が課題になった。時の内務大臣は、横断的組合こそが階級闘争の原因となると、横断的組合を敵視しつつ、治安警察法17条の解釈を変更し、横断組合あるいは社会主義者等の外部者がストに関与する場合は17条を適用し、工場内・事業所内の労働者だけによるストには17条を適用しないこととした。同時に、上から工場委員会制度を導入し、労組に代位させようとした。1926年に

黙って放置すれば、28条の解釈改憲、社会運動全般への弾圧に活用される。しかし、この事件の異様さが共有できれば、歯止めをかけられる。企業内労組だけでは、4割を占める非正規とワーキングプア問題は解決しない。なぜなら、企業内労組を追い出されたら、労働3権をバックにして闘うことができないからだ。そういう意味で関生は、「近未来労組」なのだ。

超えた連帯行動と称し、同情ストライキをかけた。第1次大戦後、国際連盟に加入の条件に「労働組合を公認すること」とされるという雰囲気。戦勝国の一員たろうとする日本は、治安警察法第17条、同盟罷業の「誘惑扇動」を禁止の改廃、労働法の制定が課題になった。時の内務大臣は、横断的組合こそが階級闘争の原因となると、横断的組合を敵視しつつ、治安警察法17条の解釈を変更し、横断組合あるいは社会主義者等の外部者がストに関与する場合は17条を適用し、工場内・事業所内の労働者だけによるストには17条を適用しないこととした。同時に、上から工場委員会制度を導入し、労組に代位させようとした。1926年に

黙って放置すれば、28条の解釈改憲、社会運動全般への弾圧に活用される。しかし、この事件の異様さが共有できれば、歯止めをかけられる。企業内労組だけでは、4割を占める非正規とワーキングプア問題は解決しない。なぜなら、企業内労組を追い出されたら、労働3権をバックにして闘うことができないからだ。そういう意味で関生は、「近未来労組」なのだ。

超えた連帯行動と称し、同情ストライキをかけた。第1次大戦後、国際連盟に加入の条件に「労働組合を公認すること」とされるという雰囲気。戦勝国の一員たろうとする日本は、治安警察法第17条、同盟罷業の「誘惑扇動」を禁止の改廃、労働法の制定が課題になった。時の内務大臣は、横断的組合こそが階級闘争の原因となると、横断的組合を敵視しつつ、治安警察法17条の解釈を変更し、横断組合あるいは社会主義者等の外部者がストに関与する場合は17条を適用し、工場内・事業所内の労働者だけによるストには17条を適用しないこととした。同時に、上から工場委員会制度を導入し、労組に代位させようとした。1926年に

黙って放置すれば、28条の解釈改憲、社会運動全般への弾圧に活用される。しかし、この事件の異様さが共有できれば、歯止めをかけられる。企業内労組だけでは、4割を占める非正規とワーキングプア問題は解決しない。なぜなら、企業内労組を追い出されたら、労働3権をバックにして闘うことができないからだ。そういう意味で関生は、「近未来労組」なのだ。

なぜ賃金が上がらないか

今、世界の先進国では1990年代半ばから賃金が上昇傾向にあるが、日本はずっと下がってきた。日本だけが賃金が下がっている。企業は、「グローバル化のもと、国際競争力が激しくなるから賃金が下がる」と言ってきたが、そうではない。日本の上上げ装置に、どこか欠陥がある、そういう賃金破壊ということが分かってきた。それは労働組合が力をなくしてき

戦前の同じ戦

なぜ、こういうことが起るのか。戦前、日本の労働運動では、企業の別を超えた横断的組織が当然だった。企業別や事業所別組合は「黄色」組織と見ることが常識でした。第1次大戦後、国際連盟に加入の条件に「労働組合を公認すること」とされるという雰囲気。戦勝国の一員たろうとする日本は、治安警察法第17条、同盟罷業の「誘惑扇動」を禁止の改廃、労働法の制定が課題になった。時の内務大臣は、横断的組合こそが階級闘争の原因となると、横断的組合を敵視しつつ、治安警察法17条の解釈を変更し、横断組合あるいは社会主義者等の外部者がストに関与する場合は17条を適用し、工場内・事業所内の労働者だけによるストには17条を適用しないこととした。同時に、上から工場委員会制度を導入し、労組に代位させようとした。1926年に

展望はある勝利できる

一方、関生事件については、警察担当に労働担当が介入することの難しさというメディア問題もあると思うが、学者声明とかいろんな形で発信していくことができる。私たちが、この事件を公開の場で話題にしていくこと、地域で勉強会を開くなど、安心して話せる場をつくっていくことも大切だ。非常に重要な局面にきている。SNSを使った反動的な役割も目立つ。YouTubeなどで対抗報道が必要だ。

朝鮮半島情勢を読む① 金光男さん(在日韓国研究所代表)

革命的統一論の破棄か 朝鮮労働党が規約を改正

朝鮮民主主義人民共和国の朝鮮労働党は今年1月、第8回大会を開催した。そこで発表された党規約の改正は、労働党の最重要路線である「南朝鮮革命統一論」の転換を示唆するものであった。金正恩と労働党に何が起っているのか。在日韓国研究所代表の金光男さんが分析した。(12月4日、京都市内で開かれた現代コリア研究会で講演、取材・文責/本紙編集部)

「統一」から「国防」へ

今年5月31日、韓国・ハンギョレ新聞が朝鮮労働党(以下、「労働党」)の改正規約全文を入手したことを明らかにし、その一部を公表した。労働党は1月の党大会で規約改正を行ったことは発表していたが、その内容については明らかにされていなかった。

今年5月31日、韓国・ハンギョレ新聞は、今回の規約改正のポイントを3点にまとめている。第一は、労働党が「南朝鮮革命統一論」を事実上破棄したというもの。第二に、「個人」による統治から、「制度」による統治に移行したというもの。新規約では、「金日成、金正日、金正恩」という個人名が消え、主語が「労働党」に置き換わっている。

第三に、「金正恩の代理人」を新設したというものだ。新規約では「党中央委員会第一書記」は「労働党総書記の代理人」とあると明記した。

私は今回の規約改正を、労働党の制度的運営が安定した結果であると見ている。それは党大会の開催状況を見れば歴然としている。労働党は75年の歴史の中で8回しか

党大会を開いていない。金日成時代の6回大会(1980年)以降、36年間、大会は開かれなかった。金正日は一回も大会を開かなかった。金正恩は9年間で、第7回大会(16年)と第8回大会(21年)の2回開催している。7回大会以降、中央委員会政治局会議や中央軍事委員会会議、その拡大会議などが頻繁に開催され、その内容が一部公開されている。こうした実績をふまえて、新規約では党大会を5年に1回開催することになった。主語が「党」になっているのは、個人の力に依存的な必要がなくなったからだ。またそれは、労働党が「時代の変化」を無視できなくなった結果でもある。南北間の経済格差は著しい。韓国が世界第10位の経済大国となった今、「民族解放民主主義革命」に現実性はない。

さらに新規約では「先軍」や「経済建設と核武力建設の並進路線」が消え、「自力更生の旗の下で経済建設」「人民第一主義」に置き換わった。総じて今回の規約改正は「先軍」政治から「先党」政治への移行であると判断したい。



朝鮮労働党第8回大会に際して平壤で打ち上げられた花火(1月15日、朝鮮労働党のホームページより)

党大会を開いていない。金日成時代の6回大会(1980年)以降、36年間、大会は開かれなかった。金正日は一回も大会を開かなかった。金正恩は9年間で、第7回大会(16年)と第8回大会(21年)の2回開催している。7回大会以降、中央委員会政治局会議や中央軍事委員会会議、その拡大会議などが頻繁に開催され、その内容が一部公開されている。こうした実績をふまえて、新規約では党大会を5年に1回開催することになった。主語が「党」になっているのは、個人の力に依存的な必要がなくなったからだ。またそれは、労働党が「時代の変化」を無視できなくなった結果でもある。南北間の経済格差は著しい。韓国が世界第10位の経済大国となった今、「民族解放民主主義革命」に現実性はない。

「二つの主権国家」

8回大会では「国家経済発展5カ年計画」(昨年終了)で立てた目標のほとんどが達成されなかったことが明らかにされた。「経済制裁の長期化」「台風による水害被害」「新型コロナによる国境閉鎖」によって、経済危機に直面している。私はこうした危機の克服は、「南北協力」にあると考える。しかし、金正恩は「思想的汚染」を恐れ、かえって国内での「思想闘争」を強化し、民衆を締め付けている。北が破産している「自力更生路線」に固執するか、将来展望を描くのか、日本人がそれを知らないことにある」と次のように語った。



中塚明さん

の過去だった。これをどう見るか」と書いた。彼は「近代日本についての深刻な反省」をしたのだが、だがそれは東京裁判で俎上にあげられた1930年以後のことだけであって、「明治の戦争」は入っていない(その後の彼の著作に明らか)。これが「日本は朝鮮で何をしたか」の講演があった。中塚さんは、「現在の『韓国ハッシング』の歴史的背景は、明治期の日本が朝鮮に何をしたのか、日本人がそれを知らないことにある」と次のように語った。

改ざんされた戦史

日本は朝鮮で何をしたか

中塚明さん「虚妄の記憶」を糾す

日本は、明治維新(1868年)から40年で日清、日露戦争に勝利し、「公刊戦史」は事実をすべて改ざんしている。70年以後、少しずつ史料公開が進み、その後の研究で、江華島事件、日清、日露戦争などの「改ざん」の中身が明らかになってきた。一例を挙げる。徳島出身の杉野虎吉は1894年7月29日にソウル南の

成歎(ソウダ)での日清会戦で戦死したとされているが(靖国神社忠魂史)、実はその年12月10日、東学農民軍との連山(ムンサン)での交戦で戦死(日本軍唯一の死者)したということがわかった。この農民軍との戦闘の記録は戦史にはない。ではなぜ、改ざんされたのか。当時、東学農民の記憶「から正しい判断が生まれるはずもない。歴史に学ぶ」との意味

掘、検証を大きく進めてきた(今も続く)。最近1895年の「閔妃暗殺」実行犯の直筆の手紙が発見されたという朝日新聞の記事が出たが、「史料」に向かい合い実証し、真実を知って、自らの姿勢を整えることが、今、大切なのではないか。「明治の栄光」という「虚妄

が生まれ、その高年齢を感じさせない力のある声で、満員の聴衆に熱く語り続けた。「慰安婦」問題の解決にわたってきた私にとって、大いなる励みになるお話だった。

当日は、徐潤雅(ソウジュンゲイ)さん(立命館大学コリアセンター研究員)による「境界なき連帯: 富山妙子と韓国民主化連帯運動」についての研究報告があった。

日本の知性

日本は、明治維新(1868年)から40年で日清、日露戦争に勝利し、「公刊戦史」は事実をすべて改ざんしている。70年以後、少しずつ史料公開が進み、その後の研究で、江華島事件、日清、日露戦争などの「改ざん」の中身が明らかになってきた。一例を挙げる。徳島出身の杉野虎吉は1894年7月29日にソウル南の

成歎(ソウダ)での日清会戦で戦死したとされているが(靖国神社忠魂史)、実はその年12月10日、東学農民軍との連山(ムンサン)での交戦で戦死(日本軍唯一の死者)したということがわかった。この農民軍との戦闘の記録は戦史にはない。ではなぜ、改ざんされたのか。当時、東学農民の記憶「から正しい判断が生まれるはずもない。歴史に学ぶ」との意味

掘、検証を大きく進めてきた(今も続く)。最近1895年の「閔妃暗殺」実行犯の直筆の手紙が発見されたという朝日新聞の記事が出たが、「史料」に向かい合い実証し、真実を知って、自らの姿勢を整えることが、今、大切なのではないか。「明治の栄光」という「虚妄

が生まれ、その高年齢を感じさせない力のある声で、満員の聴衆に熱く語り続けた。「慰安婦」問題の解決にわたってきた私にとって、大いなる励みになるお話だった。

当日は、徐潤雅(ソウジュンゲイ)さん(立命館大学コリアセンター研究員)による「境界なき連帯: 富山妙子と韓国民主化連帯運動」についての研究報告があった。

改ざんされた戦史

日本は、明治維新(1868年)から40年で日清、日露戦争に勝利し、「公刊戦史」は事実をすべて改ざんしている。70年以後、少しずつ史料公開が進み、その後の研究で、江華島事件、日清、日露戦争などの「改ざん」の中身が明らかになってきた。一例を挙げる。徳島出身の杉野虎吉は1894年7月29日にソウル南の

成歎(ソウダ)での日清会戦で戦死したとされているが(靖国神社忠魂史)、実はその年12月10日、東学農民軍との連山(ムンサン)での交戦で戦死(日本軍唯一の死者)したということがわかった。この農民軍との戦闘の記録は戦史にはない。ではなぜ、改ざんされたのか。当時、東学農民の記憶「から正しい判断が生まれるはずもない。歴史に学ぶ」との意味

掘、検証を大きく進めてきた(今も続く)。最近1895年の「閔妃暗殺」実行犯の直筆の手紙が発見されたという朝日新聞の記事が出たが、「史料」に向かい合い実証し、真実を知って、自らの姿勢を整えることが、今、大切なのではないか。「明治の栄光」という「虚妄

が生まれ、その高年齢を感じさせない力のある声で、満員の聴衆に熱く語り続けた。「慰安婦」問題の解決にわたってきた私にとって、大いなる励みになるお話だった。

当日は、徐潤雅(ソウジュンゲイ)さん(立命館大学コリアセンター研究員)による「境界なき連帯: 富山妙子と韓国民主化連帯運動」についての研究報告があった。

改ざんされた戦史

日本は、明治維新(1868年)から40年で日清、日露戦争に勝利し、「公刊戦史」は事実をすべて改ざんしている。70年以後、少しずつ史料公開が進み、その後の研究で、江華島事件、日清、日露戦争などの「改ざん」の中身が明らかになってきた。一例を挙げる。徳島出身の杉野虎吉は1894年7月29日にソウル南の

成歎(ソウダ)での日清会戦で戦死したとされているが(靖国神社忠魂史)、実はその年12月10日、東学農民軍との連山(ムンサン)での交戦で戦死(日本軍唯一の死者)したということがわかった。この農民軍との戦闘の記録は戦史にはない。ではなぜ、改ざんされたのか。当時、東学農民の記憶「から正しい判断が生まれるはずもない。歴史に学ぶ」との意味

掘、検証を大きく進めてきた(今も続く)。最近1895年の「閔妃暗殺」実行犯の直筆の手紙が発見されたという朝日新聞の記事が出たが、「史料」に向かい合い実証し、真実を知って、自らの姿勢を整えることが、今、大切なのではないか。「明治の栄光」という「虚妄

が生まれ、その高年齢を感じさせない力のある声で、満員の聴衆に熱く語り続けた。「慰安婦」問題の解決にわたってきた私にとって、大いなる励みになるお話だった。

当日は、徐潤雅(ソウジュンゲイ)さん(立命館大学コリアセンター研究員)による「境界なき連帯: 富山妙子と韓国民主化連帯運動」についての研究報告があった。

改ざんされた戦史

日本は、明治維新(1868年)から40年で日清、日露戦争に勝利し、「公刊戦史」は事実をすべて改ざんしている。70年以後、少しずつ史料公開が進み、その後の研究で、江華島事件、日清、日露戦争などの「改ざん」の中身が明らかになってきた。一例を挙げる。徳島出身の杉野虎吉は1894年7月29日にソウル南の

成歎(ソウダ)での日清会戦で戦死したとされているが(靖国神社忠魂史)、実はその年12月10日、東学農民軍との連山(ムンサン)での交戦で戦死(日本軍唯一の死者)したということがわかった。この農民軍との戦闘の記録は戦史にはない。ではなぜ、改ざんされたのか。当時、東学農民の記憶「から正しい判断が生まれるはずもない。歴史に学ぶ」との意味

掘、検証を大きく進めてきた(今も続く)。最近1895年の「閔妃暗殺」実行犯の直筆の手紙が発見されたという朝日新聞の記事が出たが、「史料」に向かい合い実証し、真実を知って、自らの姿勢を整えることが、今、大切なのではないか。「明治の栄光」という「虚妄

が生まれ、その高年齢を感じさせない力のある声で、満員の聴衆に熱く語り続けた。「慰安婦」問題の解決にわたってきた私にとって、大いなる励みになるお話だった。

当日は、徐潤雅(ソウジュンゲイ)さん(立命館大学コリアセンター研究員)による「境界なき連帯: 富山妙子と韓国民主化連帯運動」についての研究報告があった。

改ざんされた戦史

日本は、明治維新(1868年)から40年で日清、日露戦争に勝利し、「公刊戦史」は事実をすべて改ざんしている。70年以後、少しずつ史料公開が進み、その後の研究で、江華島事件、日清、日露戦争などの「改ざん」の中身が明らかになってきた。一例を挙げる。徳島出身の杉野虎吉は1894年7月29日にソウル南の

成歎(ソウダ)での日清会戦で戦死したとされているが(靖国神社忠魂史)、実はその年12月10日、東学農民軍との連山(ムンサン)での交戦で戦死(日本軍唯一の死者)したということがわかった。この農民軍との戦闘の記録は戦史にはない。ではなぜ、改ざんされたのか。当時、東学農民の記憶「から正しい判断が生まれるはずもない。歴史に学ぶ」との意味

掘、検証を大きく進めてきた(今も続く)。最近1895年の「閔妃暗殺」実行犯の直筆の手紙が発見されたという朝日新聞の記事が出たが、「史料」に向かい合い実証し、真実を知って、自らの姿勢を整えることが、今、大切なのではないか。「明治の栄光」という「虚妄

が生まれ、その高年齢を感じさせない力のある声で、満員の聴衆に熱く語り続けた。「慰安婦」問題の解決にわたってきた私にとって、大いなる励みになるお話だった。

当日は、徐潤雅(ソウジュンゲイ)さん(立命館大学コリアセンター研究員)による「境界なき連帯: 富山妙子と韓国民主化連帯運動」についての研究報告があった。

改ざんされた戦史

日本は、明治維新(1868年)から40年で日清、日露戦争に勝利し、「公刊戦史」は事実をすべて改ざんしている。70年以後、少しずつ史料公開が進み、その後の研究で、江華島事件、日清、日露戦争などの「改ざん」の中身が明らかになってきた。一例を挙げる。徳島出身の杉野虎吉は1894年7月29日にソウル南の

成歎(ソウダ)での日清会戦で戦死したとされているが(靖国神社忠魂史)、実はその年12月10日、東学農民軍との連山(ムンサン)での交戦で戦死(日本軍唯一の死者)したということがわかった。この農民軍との戦闘の記録は戦史にはない。ではなぜ、改ざんされたのか。当時、東学農民の記憶「から正しい判断が生まれるはずもない。歴史に学ぶ」との意味

掘、検証を大きく進めてきた(今も続く)。最近1895年の「閔妃暗殺」実行犯の直筆の手紙が発見されたという朝日新聞の記事が出たが、「史料」に向かい合い実証し、真実を知って、自らの姿勢を整えることが、今、大切なのではないか。「明治の栄光」という「虚妄

が生まれ、その高年齢を感じさせない力のある声で、満員の聴衆に熱く語り続けた。「慰安婦」問題の解決にわたってきた私にとって、大いなる励みになるお話だった。

当日は、徐潤雅(ソウジュンゲイ)さん(立命館大学コリアセンター研究員)による「境界なき連帯: 富山妙子と韓国民主化連帯運動」についての研究報告があった。

(水島良)



親水海岸である「エコパーク水俣」

うとき、患者さんが多発した湯堂、茂道に行きたいとお願いし

水銀へドロ

案内してもら

水銀海づくり大会

13年10月26日、「全国

不知火海を望む相思社から、車はミカン山を抜けていきます。温州みかん

残渣プールを眺めました。途中、エコパーク水俣に寄ってもらいま

16年の熊本地震のとき、水俣に住んでいる人たちの頭をよぎったの

豊かな海づくり大会」が水俣で催され、現上皇夫妻が、このエコパーク水俣を訪れ、水俣病慰霊碑

車は海岸伝いに湯の尻温泉を通り過ぎ、大崎鼻公園に着きました。ここ

有害な水銀を含むヘドロと、汚染された魚を

天皇制を懐疑的にみている

皇の奥さんである皇后雅子の母方のおじいさんが、チツソの社長の江頭

見渡せません。案内していただいた相思社の方の説明によると、「ここから

原料のカーバイドの粉

1977年から工事が始まり、90年に完了

江頭が社長の座に着いたとき、彼女は5歳

浦島、天草も含めて、水俣病患者が発生している

水俣へ、4回目の旅② こじまみちお

3000本のドラム缶に詰め、水俣湾に埋立てま

江頭が社長の座に着いたとき、彼女は5歳

海沿岸住人47万人の健康調査が必要」と話していたのに、領けました。

年もたつのに、いまだに地面から出ている。ぞつ

58・2ヘクタール、東京ドーム12個分の広さ、総

昭和電工社長・安西正夫の息子である安西孝之と結婚。安西孝之自身

チツソと天皇家



昭和電工社長・安西正夫の息子である安西孝之と結婚。安西孝之自身

八幡残渣プール

大崎鼻公園を後に水俣市内へ戻り、水俣川の河口付近からチツソの八幡

プール護岸を見たのです

工費は485億円と言われている

昭和電工の役員を歴任しています。一方、天皇の祖父の昭和天皇は、



日本の裁判 選択的抽出法」(本田鑑

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ

「権力補完機構」の性格

「司法は動くな」

「なぜ正義を全うできないか」

「なぜ日本の裁判所はこ



年金、401Kのことなど

大阪 門倉健一

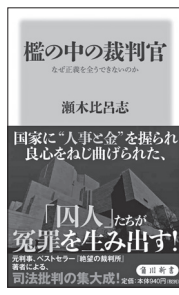
コロナ禍で転職を余儀なくされたが大手グループ

「あなたの投資スタイルはハイリスク・ハイリターン型? それとも安定型?」

投資銀行の宣伝をよくよく読めば、原本割れの危険性があること、口座

「要するに自己責任で

訂正とおわび



なぜ日本の裁判所はこ

なぜ日本の裁判所はこ

なぜ日本の裁判所はこ

なぜ日本の裁判所はこ

なぜ日本の裁判所はこ

なぜ日本の裁判所はこ

なぜ日本の裁判所はこ

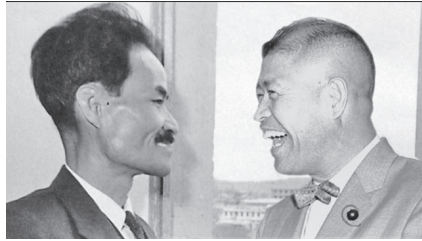
なぜ日本の裁判所はこ

まい・しよっと (20)



(mac. 撮影：11月28日)

おなじみ、神戸・新長田に立つ「鉄人28号」。原作は1956年から雑誌『少年』に連載され、子どもたちの大人気に。当時、毎月買ってもらえる子はなく、1冊を回し読みしていた。95年、神戸・新長田地区は大震災で甚大な被害を受ける。地域の賑わいを戻そうと09年、地元の商店会などの努力により建てられた。高さ15メートル、重さ50トン。広場では、特産のケミカルシューズ展示販売や琉球祭り、音楽イベントなどが開かれる。撮影した日は、寒波が厳しかったが…若い人たちが「自撮り」していた。



瀬長亀次郎(左)と下里恵良

トガシさんの「沖縄便り」②③ ラッパと亀次郎

『サンマデモクラシー』とは(下)

さて、裁判は琉球民裁 仲間を呼びました。サンマデモクラシーの原告は漁業組合は勝訴。しかし、当時はアメリカ政府の裁判所も怒った県民が裁判所を取り囲んだりしました。その中に、瀬長亀次郎もいたのです。小さな流れが次第に大きくなり、本流となっていくようになります。

翁長知事と菅官房長官

この場面に、翁長知事と当時の菅官房長官の辺野古をめぐる会談が流されました。菅の

強引な姿勢に対して知事が、「沖縄の自治は神話だと言ったキャラウエーを思い出す」と言うシーンが出てきます。現在の辺野古問題とオーバーラップさせてみました。昔を今につなげる映画の手法に観客はのめりこんでいきます。この辺りから映画も終盤に近付きますが、いくつかの挿話がありました。

時代と政治状況のせい、筋を通す保守が出てくると沖縄は「オール沖縄」でたたかう。下里ラッパも筋を通したから亀次郎が見舞いに来ました。ほほえましい挿話でした。

位牌に赤い雨靴

もう一つの挿話は、エディンバラ前。この映画ストーリーの進行役を演じていた嘶家の藤木志いさーが役を抜け出し、藤木勇人個人となって玉城ウシの所に訪れるシーン。ウシは一人娘を幼少時に亡くしています。もちろんウシさんは亡くなっており、位牌は東京葛飾にいる甥の家に。ウシの位牌とその隣に並んでる幼い娘に赤い雨靴

(富樫 守)



なぜ大統領になれたのか。その理由はムヒカの素朴な人柄や巧みなコミュニケーション能力だけではない。拡大戦線第一期のバスケット大統領のもとで極貧層が半減した。貧困層も3分の1に減り、18万の雇用増を実現した。こうした実績の上にムヒカの第二期政権につながったのだ。拡大戦線あつての「ムヒカ政

声 ウェブ版で読みました

高野のりこ 海外在住

ウェブ版で読みました。全部は無理ですが、読みやすいですね。三里塚反対同盟の市東孝雄さんたちの頑張り、本当にすごい。「水俣への旅」で、溝口トヨ子さんの幼い時代に、メチャ泣きました。年齢をとったせいも、ものすごく涙腺がゆるくなり、涙が止まらなくなりました。それにしても、水俣市はひどい！私のが、深い問題意識を持つ



正社員の記事切り下げで「格差是正」？しかも非正規の改善もほとんどなしとは。現場からの声もあれば、もっとよかった。(な) / 「身を切る改革は、下への同調圧力」に納得。(ち) / デタラメな内容十宣伝上手の維新を、深読みしすぎでは。私たちは民主主義を創造したい。(に) / 「このコーナーでは、みなさんのご意見・ご感想を紹介いたします」

徹底した平等主義

ムヒカがよく使う言葉に「誰も誰かより偉いなんてことはない」がある。彼独自のものではないが、その世界観がよく表れている。徹底した

権「なのだ。拡大戦線と主義(自・公の国会議員としての連続性だ)。ムヒカはそこに別の選択肢と可能性があることを証明したのではないか。感じた限界

で違憲判決が出て頓挫。ムヒカは、高い理想を掲げながらも大きな成果は上げられなかった。しかし、その存在感は誰も否定できない。終わりに

私の問題意識は、過去の左派系の運動や思想の総括が、未だ道半ばであるし、一定程度の地平に到達することが課題として残っていると、思うところがあります。拡大戦線に注目したのは、従来の左翼派やグループ間の関係の問題点や、自公政権に対決する陣形の「ひ弱さ」を何とか克服できないかという問題意識からでした。ここに、何らかの教訓が示されているように感じました。これは、私に感じただけです。ことごとくも思います。

すべての住民の団結で！

長崎より ローカルから見えるもの②③
ムヒカと「拡大戦線」(最終回)

「平等」意識。言行一致の庶民的実生活。人びとの理性への呼びかけ。これらの彼に共感が集まっている理由だろう。私たちが代表するはずの政治家が、すっか

最初で紹介した本の著者の萩一晶さんの熱心な取材と執筆のおかげでムヒカの「本当のメッセージ」に触れることができた。朝日新聞の中には、志の高い記者がいるのです。下地毅さんや田井中雅人さんなど。私のこの小さな連載は、文章自体はおおかた萩さんの表現です。是非とも、読者の皆さんに伝えたい思いで構成しました。

しかし、決してあきらめずに、野党、左派、リベラルを含め全ての住民の団結で自公を歴史のクズ籠へ！(脇田和也)